

～第0回 鶴川駅南口のまちなみをつくる会の振り返り～

キックオフミーティング
和光大学ポプリホール鶴川多目的室 2024年3月7日

第0回キックオフミーティングでは、13名の方にご参加いただき、この会の目的や南口の将来イメージについてお伝えし、様々なご意見をいただきました。

まちなみをつくる会とは？

この会は、良いまちなみとは何かを学び、南口ならではのまちなみのつくり方を皆さまと共に考える場所にしたと考えています。

町田市がつくる道路の舗装や公園の緑などの設えをどのようにするかなど、今後お伝えしてまいります。



南口の将来イメージ模型

これまで実施した「鶴川駅周辺アイデアコンテスト(2018年度 小田急電鉄主催)」や「鶴川駅を考える会(2019年度)」にて、地域の皆様から頂いたご意見等を元に、南口の将来イメージ模型をみなさまと共有しました。



ご意見・ご感想

「第0回キックオフミーティング」では、日頃のまちづくりについて感じていること等のご意見をいただきました。会を終えた後も様々なご意見やご感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

会の内容に関すること

- ・ 模型を見ることができて参考になった。
- ・ 参加者の意見がたくさん出てきてよかった。
- ・ 行政の方々が素晴らしい、建築家の説明もわかりやすかった。
- ・ 自分自身の今後が見えないため、まちなみまで考えられない。
- ・ まちなみ以前の議論が多く、何がテーマかわかりづらい。
- ・ 駅前に何が建つかわからないと、まちなみがどうなるかわからない。

景観に関すること

- ・ ガードレール等の素材を木でつくるのがいいのではないかと。
- ・ 南口ならではのシンボルツリーがほしい。

まちづくりに関すること

- ・ 南口には公共トイレが必要。
- ・ 南口改札の在り方と北口改札からポプリホールまでの動線が重要。
- ・ 防災・防犯のことを考えたまちづくりをしてほしい。

頂いたご意見等につきましては、今後のまちづくりや会の運営の参考にさせていただきます。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

※一部のご意見は要約して掲載おります。